

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541

<e-mail> taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ> http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年 2月23日(月) 第196号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

組織の強化・拡大

自治体要請での全国行動

1年間の運動実績を確認

課題は、機構整備・自主財政確立

初の全国事務局長会議開く



▲全組織から85人が参加した全国事務局長会議。(2月17日)

組織拡大と政策・制度要求内容について、今後、運動を取り組む上で重要となる実務的な意見交換のため、退職者連合は、二月一七日(火)午後一時から、都内・荒川区のホテルラングウツドで、結成以来初めてとなる全国事務局長会議を開きました。会議には中央・地方の退職者組織から事務局長が出席しました。

会議の冒頭、阿部保吉会長は「退職者連合が始まって以来、最初の事務局長会議だ。組織拡大では、しっかりとした体制・機構整備の強化ができ、実績も上がっている。連合の力を借りながら百万を達成し、三百万を目指したい。そのため規約の整備や機構の検討、運動の見直しが出てきている。また、自主財政の課題もある。政策・制度要求についてもいろいろ相談していきたい」と述べ、組織の要である事務局長会議開催の意義を強調、「事務局長会議をこれから年一回開催したい」との考えを示した。

連合と退職者連合の強い絆を実感

続いて連合本部を代表して山根晴久総合組織局長があいさつ。年であることから、山根総合局長は「退職者連合と連合の連携とは「安倍政権の動きに危惧を持ってして力合わせていただいております。平和を守って行きたい」との合と退職者連合の強い絆ができて決意を述べました。あいさつの終わると実感している。また地域に、連合などが取り組む一〇〇〇でも現退一致の運動の取り組み万署名の取り組みへの更なる協力ができている」と報告。今国会で要請しました。なお連合本部総合組の労働法制改悪の動きについて、織局からは、倉永誠史局長と林俊孝は、「徹底的に対峙し、安倍政権部長が出席。阿部会長が参加者に紹に現退一致で対決を」と出席者に紹介しました。



阿部会長



山根木総合局長

会場からの 報告・意見・要望

会場からは、5人の方から発言がありましたので、要旨を紹介します。本部答弁は紙面の関係で省略しました。

自治体要請関係で



岡山・山田勇夫さん

県内全市町村に要請した。初めて要請した首長からは『高退連というから、高校の体育連盟か何かと思った。退職者組織と初めて知った』という声が続いた。今回の行動は退職者連合の知名度アップにつながった

鳥取高退連・山田敏明事務局長
地域・地区活動の本部報告では、活動事例紹介として鳥取高退連の取り組みについて山田事務局長から報告を受けました。詳細は、「ふれあい速報第一九一号」をご覧ください。



自治体要請関係で



兵庫・高原澄夫さん

組織拡大関係で

行事などで老人クラブと退職者連合が一致してできないか。

自治体要請を7つの地協でやろうと思ったが、地協は会員相互の親睦が活動の中心で、こうした行動は取り組めないのではと不安だった。しかしやってみたら7つの地協できちんとやれた。



福岡・檀勝樹さん

政策・制度関係で

基礎年金額が低すぎて生活が苦しい高齢者がいる。もっと年金を充実させるべきだ。



佐賀・八木道彦さん

第189国会の山場には、大きな行動を起こすべきだ。カンパを集めるなどして、ぜひ地方からも参加したい



北海道・富山隆さん

政策・制度関係で



第9回 連合・ILEC

幸せさがし文化展

どなたでも応募できます

絵画 | 写真 | 書道 | 俳句 | 川柳

作品募集

募集期間 (俳句・川柳) | 2015年2月1日(日) - 5月15日(金)

募集期間 (絵画・写真・書道) | 2015年4月1日(水) - 5月15日(金)

◆賞 俳句・川柳 | 連合大賞・ILEC大賞 各5万円 ほか

絵画・写真・書道 | 連合大賞・ILEC大賞 各10万円 ほか

◆主催 連合、(公社)教育文化協会

◆お問い合わせ
(公社)教育文化協会(略称: ILEC)
TEL: 03-5295-5421

詳しいことは [幸せさがし文化展](#) [検索](#)

政策・制度要求実現 2.18 院内集会を開催

安心できる社会保障を！第 189 通常国会に向け要求

退職者連合は 2 月 18 日 (水) 午前 10 時から参議院議員会館 1 階講堂で政策・制度要求実現 2.18 院内集会を開きました。前日の全国事務局長会議出席者や中央退職者組織の会員など首都圏を中心に 280 人が参加しました。集会は、第 189 通常国会に向け年金や医療・介護、生活保護などの当面の政策・制度について「季節要求」としてまとめ、その実現を求めるために開きました。来賓として連合本部から川島千裕総合政策局長、民主党からは、山井和則衆議院議員、社民党からは、吉田忠智党首がそれぞれ連帯のあいさつをしました。また連合の平川則男生活福祉局長が、社会保障関連での 2015 年度政府予算案の内容と連合の最重点法案について講演しました。



▲阿部会長の主催者あいさつに聞き入る参加者。あいにくの冷たい雨にもかかわらず、会場は退職者連合の会員で埋まり、熱い熱気につつまれた。(2 月 18 日、参議院議員会館)

主催者あいさつで阿部保吉会長は、まず集会のねらいについて明らかにした上で、年金、医療・介護、生活保護などの主要課題についてその内容を指摘。あわせて退職者連合の闘う姿勢を鮮明にしました。また、雇用問題にもふれ「雇

用政策は、社会保障と直結する課題であり、労働者の雇用や処遇の格差を解消し、後世に過大な負担を残すことのないようにすべきだ」と述べました。

(註)会長あいさつは、退職者連合のホームページをご覧ください。



阿部会長



川島総合局長



平川局長

連合、民主党、社民党が連帯あいさつ

来賓あいさつでは、川島総合局長が「今まで思ったように退職者連合と議論してこなかった。政策で一致する部分とそうでないところがあった。しかしこの 3 年間で幅が寄せられ現退一致で行われるようになった」と連携の成果を評価、「連合は今、春闘の真ただ中、賃上げ、時短、政策制度を中心に取り組んでいる」と闘う決意を述べました。また民主党の山井衆議院議員

は、安倍政権が目論む労働法制の一連の改悪の動きを厳しく批判。「政府は、一生派遣OK、残業代ゼロを強行している。非正規が 4 割になる。雇う側がその人の人生に責任を持たねばならない」と指摘。さらに社民党の吉田党首は、「集团的自衛権、沖縄問題、労働者派遣法など安倍さんに白紙委任したわけではない」と批判しました。



山井衆議院議員



吉田参議院議員

政策・制度要求実現 2.18 院内集会アピール

国の政策運営の誤りが勤労国民・庶民の暮らしから夢や希望を奪い取っている。

第189通常国会は、平成27年度予算案が提出され、いよいよ与野党の本格的な論戦が始まった。庶民の生活実感に根差した実のある議論を通じて、政策運営の誤りなき方向を示してほしいものである。そのため退職者連合は、「第189通常国会に向けての政策・制度要求」を掲げ、本日ここに要求実現集会を開催した。

新年度予算のみならず、集団的自衛権行使容認に係る安保法制の問題など、わが国の将来のあり方にもかかわる重要法案が予定される中で、退職者連合の要求は、高齢者の暮らしに直結する年金・医療・介護を柱とした社会保障制度の問題、とりわけそれら制度の改悪阻止と維持・改善に向けて、重点項目を絞り込んだものである。

公的年金制度については、マクロ経済スライド調整への対応、短時間労働者の年金保険への加入拡大、積立金運用のあり方などを追求し、医療保険制度については、皆保険制度の崩壊にもつながりかねない「混合診療」の問題や、後期高齢者医療制度に代わる新たな制度作りなどを提起している。介護保険制度では、予防訪問介護・予防通所介護の市区町村事業への移行の撤回を求め、要介護認定申請前段に行うとされる「基本チェックリスト」による権利侵害の問題を指摘し、介護サービス低下の防止策などを求めている。このほかにも、生活保護制度の保護基準の復元や、年金課税、法人税減税への反対も訴えている。

安倍総理は昨年末、消費税率10%への引き上げを1年半先送りして衆議院解散・総選挙を行った。それは、アベノミクスと称する経済政策の破たんを国会解散という荒技をもって糊塗したにすぎない。しかし同時にそれは、消費税率引き上げの増収分は全て社会保障財源に当てられることになっていたことから、制度改革の行方に大きな負の影を落とすこととなった。にもかかわらず政府・与党は、性懲りもなく経済最優先によるトリクルダウンを主唱し、法人税減税は言うに及ばず、「生涯派遣」を可能にする労働者派遣法の改悪や、労働時間規制の骨抜きに道を開く「残業代ゼロ制度」など、産業・企業にとってさらに使い勝手の良い税制、雇用・労働法制への変質を画策しながら、一方では各種社会保障給付の切り下げと、高齢者への負担増によって収支のバランスを図ることに腐心している。

働き続けて一つの社会的役割を終えた高齢者の生きる姿、それは人間としての尊厳の問題である。いま国がなすべきことは誤った政策運営で格差拡大、貧困を拡散させるのではなく、社会保障制度を安定させ、誰もが生き生きと、安心して老年期を迎えることが出来る国作りである。そのために退職者連合は要求実現に向けて総力を挙げて闘いぬく。

以上

2015年2月18日

日本高齢・退職者団体連合（退職者連合）